



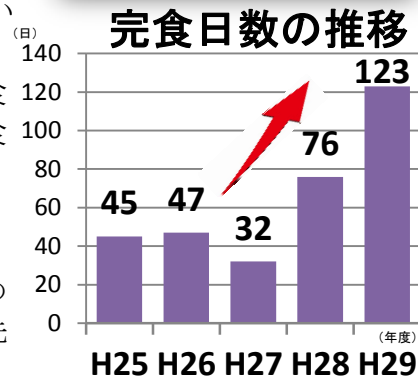
学校紹介 「Team 一丸」で進める食育



古田台小学校は、平成25年度に、広島市教育委員会から食育推進における「残食の減少に向けた取組」が評価され、「優秀賞」を受賞しました。しかしながら、平成27年度には完食日数が減少したことから、食育の取組を、より具体化・見える化するするとともに、学校教育目標実現のために掲げているスローガン「**Team 一丸**」のもと全教職員が意識統一して指導していくことを再確認しました。

また、学校経営短期目標の1つに設定している「給食を残さず、何でも食べる児童」について具体的方策や共通認識をもつとともに、評価指標「給食の残食率が1%を切った日数」を実現するための取組を練り直し、計画的・体系的に食育の取組を推進した結果、**完食日数は大幅に増加**しました。

今回は、家庭・地域と連携しながら、児童の食に対する理解や関心を深め、食べ物やそれに携わる人に感謝の気持ちを育む、古田台小学校の6つの取組（給食週間、食育月間、給食試食会、食育授業、完食の木、上手な手洗い授業）の中から特に、次の3つの取組を紹介します。



給食週間



毎日、1学年ずつランチルームで「交流給食」を実施し、楽しい雰囲気の中で食事をするなかでマナーの大切さを学びます。

また、ランチルームに、「給食クイズ」や「給食の先生の紹介」などを掲示し、関心を深めることができるようにしています。

「一生懸命作った給食を、みんながたくさん食べてくれて嬉しい」



食育授業



1年生は、教員が製作したDVDにより給食ができる様子を知り、3年生は食べ物の働きについて学習します。また、6年生は朝ごはんと体温の関係を学び、朝ごはんをきちんと食べることの大切さを再認識します。

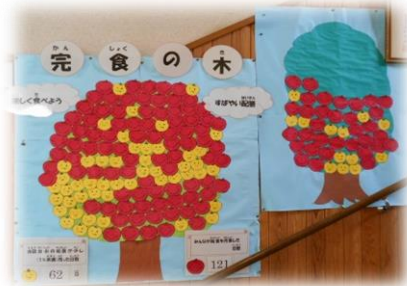
大きくて重たいざるだな。これで私たちの給食をつくってくださっているんだな...



【Team 一丸】

サポート校の栄養教諭や給食調理員、担任と連携し、給食ができる様子や朝食の大切さなどを学ぶ。

完食の木



全校の児童が完食したら「赤りんご」、残食率が1%未満なら「黄りんご」を貼ります。児童は楽しい気持ちで完食しようとする意識を持ち、また自発的にお礼をする姿が増えました。担任は完食のための配膳の工夫や喫食時間の確保など、日々の給食指導に生かしています。

「おいしかったです！」
「ごちそうさまでした。」



【Team 一丸】

全教職員の意識の向上を図るため、完食に向けた取組の目標と成果を見える化する。

担任以外の教職員や給食調理員との交流給食で、マナーの向上や会食の楽しさを実感させる。